

# 町田二中だより

令和5年度 第11号



令和6年3月18日 発行

昭和32年開校

町田市立町田第二中学校

校長 高橋 健志

〒194-0031 町田市南大谷1327

HP URL <http://www.machida-ky.ed.jp/j-machida2/>

Tel 042 (722) 1101

Fax 042 (721) 4399



## 「それぞれの有終の美に向けて」

校長 高橋 健志

3月になり、今年度も残りわずかとなりました。明日には、卒業式を開催予定ですが、年度末まではもとより、来年度当初についても気を抜くことなく学校運営に当たってまいります。

さて、3月に入り、3年生は特別時間割の中で、外部から様々な立場の方をお招きしての授業が続きしました。例えば、「いのちの授業」では、「生まれてきてくれてありがとう 自分もみんなも大切ないのち」をテーマに、助産師の方から話を聞いたり、妊婦体験・心音聴取体験・赤ちゃんとのふれあい体験をしたりと、いのちの大切さの学びを深める時間になりました。生まれて数か月の赤ちゃんを抱っこさせていただいた生徒の様子は、こわごわといった感じでしたが、皆とても良い笑顔でした。さらに、「薬物乱用防止教室」では、町田警察署の方から薬物乱用の危険から身を守るための正しい知識を、別日の「福祉体験」では、地域の方々にお手伝いいただきながらの車椅子体験や手話体験など、貴重な経験をしています。また、1・2年生は、進級に向けてのまとめの時期に入り、4月からも活躍が楽しみです。「有終の美を飾る」とは、「物事をやり通し、最後を立派な状態にする」という意味がありますが、各学年で、今を大切に、次のステップに進んでほしいと願っています。保護者・地域の皆様には、この一年間大変お世話になりました。新年度も引き続きよろしくお願いたします。



### がん予防教室

2月15日(木)に、西村内科医師 西村洋 様から、①がんの発生と進行 ②日本のがんの現状 ③がんを予防する ④がん検診の重要性 ⑤がんの治療法 ⑥がん治療の緩和ケア ⑦がん患者とともに生きる社会について、とても分かりやすく解説してもらいました。

### 町田第二中学校 作品展

町田第二中学校三大行事の最後を締めくくる「作品展」を3月6日(水)に実施しました。保護者の見学時間を、保護者会の日に設定したこともあり、多くの保護者の皆様にご来校いただき、誠にありがとうございました。スローガンは「450人450色～春に舞う個性の羽～」。1年生の「靴のデッサン」、2年生の「校外学習フォトコンテスト」、3年生の「修学旅行作品展」など、個性豊かな作品がたくさん並び、生徒たちの努力の結晶を見ることができました。



### 百人一首大会(3年生)

3月7日(木)5・6校時を使って百人一首大会を行いました。早春の3月ではありますが、比較的暖かい陽気の体育館に畳を引き、本格的に実施しました。「読み手」は3学年の先生が交互に務め、よく通る声が体育館に響き渡りました。とても楽しく国語の勉強をすることができました。





## 3年生球技大会

3月8日（金）3年生の球技大会を行いました。雨天のため、体育館での「9人制バレーボール」でしたが、応援にも熱が入り、大いに盛り上がりました。

## いのちの授業(3年生)



3月11日（月）2～4時間目に3年生に「いのちの授業」を実施しました。3月は環境が大きく変化することから不安に陥りがちな時期で、「自殺予防月間」となっています。助産師さんを講師として招いて、2時間目は講演会でいのちの尊さやいのちの軌跡（奇跡）を知り、自己肯定感を高めることができました。体験学習では、妊婦体験や赤ちゃん抱っこ体験などを通して、母親がいかに大変な思いをして自分を産んでくれたのかを感じ、親への感謝の気持ちを感じ取ることができました。



## 薬物乱用防止教室(3年生)

3月12日（火）、3年生を対象に町田警察署から講師を招いて「薬物乱用防止教室」を行いました。薬物には覚醒剤、大麻、コカイン、LSDなどがあり、薬物なのか見分けづらい「危険ドラッグ」もありますが、全て薬物であり、日本では所持しただけでも法律で厳しく罰せられます。「薬物」というと自分には関係ないと思う生徒もいるかも知れませんが、決して他人事ではありません。薬物に引き込まうとする人は、20歳未満の若い人たちにも「頭がスッキリするよ」「やせられるよ」など巧みな言葉と、薬物を使ってみてもいいかなと思わせる手口で、若者に近付いてくることがあります。薬物は1度使うと、薬物依存となり、やめようとしたり、量を減らそうとしたりしてもコントロールできなくなります。また、薬物が体から切れると、不眠、過眠、抑うつ、不安、焦燥、幻覚、筋肉や関節の痛み、妄想、けいれん発作、食欲亢進、脱力、嘔吐下痢、異常な発汗等の症状が出ます。それを抑えるために、薬物の使用を繰り返し、やがて薬物の作用に体が慣れてしまい、快感を得るために必要な量が増えていき、使用量がどんどん増えていきます。そして、薬物使用中心の生活になり、さらに続けると死に至ることもあります。薬物は「ダメ。ゼッタイ。」を貫き、誘われそうになったら、「きっぱり断る」「その場を離れる」を忘れないでください。

## 福祉体験(3年生)



3月14日（木）3・4時間目に手話サークル町田の方などを講師にお迎えして、車いす体験と手話体験を行いました。普段はあまり意識していない段差なども車いすではいかに大変なのかなど、福祉に関する体験学習を通して、他者の立場や生き方を理解し自己の生き方を考える機会となりました。



## 卒業式予行



着々と卒業式練習を重ねる中、3月15日（金）に卒業式予行練習が行われました。予行を終えて、いよいよ卒業式当日を迎える日を待つことになりました。例年、予行の日に3年生に体育優良生徒（体育のみならず、学業にも努力した生徒に贈られる名誉ある賞）を発表しています。おめでとうございます。

